

第2回学校運営部会 議事録

(1) 日 時：令和7年11月12日（水）午後7時より、（教育会館 第4研修室）

(2) 参加者：委員（9名）欠席3名、事務局5名

(3) 内 容

①部会長あいさつ

②協議・報告事項

・中高連携推進委員会より

・令和8年度中学校入学生交流会・勝山中学校説明会について

・連携型中高一貫教育説明会（中学校1年生対象）について

③その他

《部会長あいさつ》（省略）

《協議事項》

事務局 ・皆さん、こんばんは。最初に皆さんに報告することがある。実は、再編準備委員会の委員長、福井大学の清川先生がこの部会の部会長と総務部会の部会長もされているのだが、清川先生が大学の方の公務が大変忙しくなってきて、なかなかこちらの方へ足を向けるのが難しくなってきたということで、年度途中だがこの職を辞したいという申し出を事務局が受けた。我々としても、年度途中であり、2年半これまで委員長でお世話になってきた方なので、大分慰留をさせていただいた。しかし、清川先生の思いというか、引き受けた仕事はきっと責任を持ってやり上げたいという、そういう強い思いを持っておられて、最近なかなか時間調整も難しくなってきているので、中途半端な形で仕事を続けるというのは自分の本意ではないということで、委員の皆様方には大変ご迷惑をおかけするが、申し訳ないが辞めさせてほしいという強い思いがあった。それ以上無理も申し上げられないと思い、事務局の判断ではあるが、お辞めになることを認めるという判断をさせていただいた。そうなると、準備委員会全体の委員長、それからこの部会の部会長、もう一つ総務部会の部会長が欠員になるということで、これも年度途中なので、どなたか代理の方を立ててそれぞれということも考えたが、いろいろ協議をしていただくことも年度末に向けてたくさんあるので、再編準備委員会の条例に従って、この時期ではあるが、新しい委員長さん、部会長さんを選出したいと思っている。今日は学校運営部会の方だけなので、実は今週の金曜日、明後日は総務部会を開催予定している。準備委員会は12月の下旬までない。それぞれの会でその都度、私の方から同じような説明をさせていただいて、この場で委員長から全て決めることはできないので、条例に従って決めるという形で、ご理解をいただきたい。突然の報告で恐縮ではあるが、何卒ご理解をお願いしたい。こういう進め方でよろしければ、事務局の方で進行して、新しい部会長さんの選出をまずさせていただいた上で、今日の部会をスタートしたいと考えているのでよろしくお願ひしたい。突然なので、もしこのことについて何か質問や意見があつたらお受けしたいと思う。いかがか。

では、そういう形で進めさせていただきたいと思う。どうぞよろしくお願ひしたい。

事務局 ・ただいま説明があったとおり、学校運営部会の部会長が欠員となった。勝山市立中学校再編準備委員会条例第五条には、各専門部会に部会長をおき、部会員の互選により定めるとあり、また第三条には、欠員のため新たに委嘱された委員の任期は前任者の残任期間とすると定められている。そこで、部会長はいかがするか。

委員1 ・事務局は何か案は持っているのか。

事務局 ・事務局としては、勝山市中高一貫教育推進協議会の会長も務めていただいている勝山高校の青木校長先生にお願いできぬかと考えているがいかがか。

	(異議なし)
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・互選なのでこのメンバーの中からということになる。そういうふうに事務局は考えさせていただいた。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・よろしいか。ありがとうございます。異議がないようなので青木校長先生にお願いしたいと思う。それでは青木校長先生、部会長席に移動いただいて、挨拶と、以後の進行をお願いしたい。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・こんばんは、こういうことなのでその後を引き続きやらせていただきたいと思う。中高一貫の方はこの任に当たらせてもらって、去年まで二年間経験し、三年目でさらに加速度的に決めなくてはいけないことも多いので、精一杯させていただくので、残りの期間どうぞよろしくお願ひしたい。 ・それでは配布資料に従って会議を進めたいと思うが、本日の進行について事務局より説明をお願いする。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・本日は、まず先日開催された中高連携推進委員会の協議内容について報告する。続いて 11 月 27 日木曜日に予定している令和 8 年度中学校入学生交流会及び勝山中学校説明会について協議をお願いする。後半では、現在の中学生とその保護者を対象とした説明会について審議をお願いしたいと考えている。
(中高連携推進委員会より)	
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは中高連携推進委員会の報告についてお願ひする。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・中高連携推進委員会の報告をよろしくお願ひしたい。中高連携推進委員会が何かということも、もう一度復習をさせていただくが、昨年の 11 月から、実際にこの中高一貫教育を進めるに当たって、中学校と高校が具体的にどういう教育を行なっていくかということを先生方で決める会、中学校の先生と高校の先生の代表の方に集まっていただいて、具体的な内容を決めていく。市教委と県教委と中学校の先生、高校の先生で集まって、どのようにしていくかを決めていくのが中高一貫教育推進協議会である。その具体的な作業を行うのは中高連携推進委員会で、このもとに 6 つの部会がある。教育課程部会、生徒支援部会、それから、進路支援部会、数学部会、英語部会、そして探究部会という 6 つの部会があるが、それらの協議事項を共有する会というか、そこで一旦、全員で合意を得ようということを決めていく会が推進委員会である。第二回の委員会を先般行なったので、今年、半期において協議いただいたうち、合意したということを報告いただいて、この委員会でもそれでいいだろうということを決めた。これが中高連携推進委員会、10 月 2 日にやっているが、この内容になる。このことについて説明をさせていただく。資料 1 をご覧いただきたい。教育課程部会だが、校時表を決めさせていただいた。これまでいろいろ何度か協議をしてきたが、最終的に登校時間を 8 時 20 分として、勝山高校と合わせる。入室完了を 8 時 20 分、現在の中学校が 7 時 50 分とか 8 時という時間帯に入室完了になっているので、約 20 分から 30 分程度繰り下げるということになる。そして 1 校時以降のいわゆるチャイムというか、その校時の切れ目を勝山高校と揃えていく形を取ろうということで決めた。ただ給食の時間が、高校の方は給食がないので、昼になつたらご飯を食べて、余っている時間は休み時間のような状態になるので、その辺りのところをどう調整していくか。中学校は給食を食べて昼休みということになっている。高校の時間割だと清掃および S T、S T というのは帰りの会みたいな学級会の話になるが、こういった時間が取られているので、そこを中学生が昼休みとするという形で時間を合わせるということである。こうすると、高校生が掃除をしている時に中学生が遊んでいることになるので、この辺りは掃除をする場所を区分けして中学生が遊んでいる場所については、中学生が掃除をすることで、その割り振りを考えながら調整をしていかないと協議をしている。あわせて高校生が 7 校時目をやっているときに、中学生は掃除や帰りの会をするという形である。その後放課後の活動になるが、時間帯を現状通り 5 時 40 分ぐらいを目途に放課後の活動をするという

ことで、このような時間にする、このようなことを決めていただいたというのが一点目になる。チャイムを鳴らすとか、委員会の活動をいつやるかとか細かいことについては、今後さらに継続して協議をしていくということである。中学生と高校生の交流については、現在高校で行なっている学びの祭典、これは探究の発表会だが、中学生が参加する。中学校2年生がラウンドテーブルⅡ、これも同様の事前の発表会だが、昨年まで行なっていたが、今年については、校舎の工事の関係で、物理的に難しいということで、別の形で交流をしようということである。それから中学校間の連携行事としては修学旅行を現在の1年生の修学旅行が通常だと3年生の1学期にやるようになるが、そうすると、学校が集まってすぐ修学旅行ということになるので、それまでの準備だとか計画の時間がなかなか取りにくいということもあって、この学年については、2年生の終わりに修学旅行をやってしまって、今までの三つの学校の最後の思い出旅行のような形になるかと思うが、やってしまって3年生になっていくという形でやってはどうかということで、決めさせていただいた。それから生徒支援部会だが、新しい生活のルールということでもないが、昨年度から服装が変わって、細かなところで、この辺どうするんだというようなことが、いくつか話題に上がっている。そこで、共通理解事項ということで書かせていただいたが、基本的には子ども達が自分たちで判断できるようにその枠組みを決めたということで、こうしなさいよ。ああしなさい。あれは禁止だという意味ではなくて、こういったところは自分達で考えましょうね。こういうことは自分で考えましょうねそういうことを決めていただいたということである。特にこれまで衣替えというと、いつからいつまでが衣替えの期間とやっていたが、近年天候が非常に大きく変わっているので、その辺りについては、臨機応変に対応していきましょうということで、学校の方も期間を臨機応変に対応するし、子ども達もその期間であれば自分たちで考えていく。暑ければ夏服で行くし、寒ければ冬服でいく。その辺は自分で考えましょうと、そんなことを決めていただいた。一枚めくつていただいて、校則についてと生徒会組織について、これについては、校則を一方的に決めるのではなくて、子ども達の意見を十分尊重しながら決めていきたいということで、その手順を決めていただいた。各学級からいろいろな意見を出してそれを生徒会の中でいろいろ揉んだりしながら、順に決めていくということ。それから、生徒会組織については、基本的には人数が大きくなるので、今までみたいに委員会が5個や6個では溢れてしまうので、他校の大きな学校の例を参考にすると、今までの何とか委員会のほかに何々係のグループとか、そういう組織をたくさん増やして、適正な規模で子ども達が活動しやすいようなグループを作っていくという方針で、決めていただいている。また生徒会長をどうするのか、特に、初年度の生徒会長はどうするのか。各3中に代表がいるということになるので、生徒会長についてはオンラインで、8年度末に選挙をする。会長を一人決める。その他、副会長とか書記長とか会計長とかについては、各学校から選出された子たちをそれぞれ選ぶということになるので、3人いるというような形で初年度については対応しようということを決めていただいた。部活動については、事前に部活動の顧問会議を開いていただいた。それぞれの種目をどうするということで、いろいろ協議をさせていただいたが、ここに書いてある内容については、図がややこしいが、現状で子ども達の部活動への加盟のスタイルというか、放課後の活動のスタイルが1番から6番まで分かれるということになる。1番は何かというと、平日は学校で練習をしているがこのまま受け皿がない種目については休日はなくなるということになる。それがこのままいけば吹奏楽部とか美術とか女子バレーで今のところ受け皿がない。2番の方は平日は学校でやっているが、休日は学校が中体連に加盟している組織で活動しているグループ。これが微妙なところもあるが、地域のクラブに出ていたりが学校で試合に出ていくというタイプのところ。それから3

番目は学校で出るが、平日は学校外で練習しているというところ。4番目は平日は学校でやっているが、休日はクラブが登録をして、大会に出ているというところ。それから5番目は平日は学校外で練習しているが、休日もクラブの名前で出ているというところ。最後は平日も休日も全く学校とは関係ないところで活動しているところ。そういうたったグループに分かれる。そういう時に、学校の名前で大会に参加するのはどこまでかということを決めていただいたのが右側の図である。特に中体連の大会だと、中体連の大会が休日に行われる場合は、主催者側が休日にやるという以上は出ないわけにはいかないということで、これは学校で出ればいいのではないかということを決めていただいて、その他地区の大会については、学校名ではない形で出てもらいましょうということでバツがついている。それがそれぞれのカテゴリごとに分けて決めていただいたという内容になる。皆様方にというよりも、学校関係者がどのように理解を共有するかということで、必要な図と考えている。1ページめくっていただきて、今ほどの話はあくまでも地域展開がこのまま進まなければという仮定の話で、我々としてはぜひ地域展開を進めて、どの子ども達にも休日活動ができる場を作れるように、各種団体と協議を進めていかなくてはいけないと考えている。そこで常設部として書いてあるのが、現在中学校に設置されている部活動である。今後のことを考えると勝山高校で何をやっているのかということも、少し関係してくるということを考えて、一番左側の現状の部活動というのを書いてある。こういったことをベースに新中学校では何部を作るのかというような話も日々聞かれるので、方針としては現状ある部活動については新中学校でもそのまま設置をするという方針を示しているので、現状設置されている部活動についてはすべて新中学校に設置するという方針で考えていきたい。活動場所だが、これはあくまでも案で、現状そのまま行くわけではないと思う。勝山高校でいろいろ活用している場所がここだけではない部分もあるので今後さらに協議を進めなくてはいけない。こんな形ではどうかという程度で考えている話で、活動場所の案ということになる。それから、地域展開の状況だが、書かせていただいたいくつかの種目については既に地域の受け皿ができていて、そこで活動をしているが、協議中と書かせていただいた種目については、今後さらに協議を進めて、なんとか、この種目の活動が、休日にも子ども達ができる場を作りたいということで関係の皆様方と協議を進めている状況である。現在既に自主活動ということで、それぞれの活動をやっている場合は、どういうところでやっているのかということを参考までに書かせていただいている。資料2については以上である。委員の皆様の中でこれは違うのではないかとか、これはこうだとお気づきの点があったら、教えていただければと思う。あと最後にこれから話だが、中学校1年生を対象に説明会を行う。それから小学校6年生を対象に説明会を行うことを確認させていただいて、推進委員会を終えている。長くなつたが、説明は以上になる。

部会長
委員1

- ・ただいまの報告について質問とか意見はあるか。
- ・資料の部活動名とか自主活動の活動名、チーム名が、これ本当にそうかなというものもあるので、精査したいと思う。例えば勝山RCのチームの名前がどうだったか。自分も自信がないので、そこは確認をさせていただきたいので、訂正が入ることをご了承いただきたい。アスリートとか、勝山RCは中体連登録はしていない。学校で登録をしていて中体連以外の大会はアスリートで出ておられると思う。こういう訂正が入るかと思うのでよろしくお願ひしたい。

事務局
委員2

- ・ぜひお気づきの点はお願ひしたい。
- ・部活動は生徒にとって非常に重要なファクターかなと思う。その中で、芸術関係というか、吹奏楽とか、現状やられているところで、当然自分達の活動もそうだし、地域のいろいろな行事にも出ているし、先行きが不透明だというのは、運動している人は別にいいが、全員がそうではないので、そこが

	<p>心配というか、その辺に興味ある子が例えば本当に勝山中学校に行かないという選択肢が下手すると出てくると、それはそれでちょっとなと思う。これはどこにぶつけていいかということがあるが、なるべくそういった子達をうまくないようなアイディアみたいなものをみんなで考えていいかなといけないのかなと思う。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今の件は言われる通りで、勝山の子が勝山で、自分のやりたい活動を続けられる環境を作っていくことは、我々としてもぜひ大事に考えていきたいと思っている。それについて、どなたか一人にやってよと言っても、こういったものはなかなか一人では難しい。手伝いたいけど、一人ではできないという方が大半だと思う。そういう意味でこちらの方としてサポートできるのは、組織作りについて、一人でなくて何人かの皆さんでという声かけを進めさせていただきたいと思っていて、まだ協議中だが、いろいろなところの関係の方にお願いをしていきたいと考えている。
委員 3	<ul style="list-style-type: none"> ・先ほどの所属の資料2の方だが、バドミントンをかじっているが、男子バドミントンのところの一番最後の地域展開の進捗状況の所属団体だが、女子も一緒にチャマッシュをやっている。一緒になると思う。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・他にはないか。
委員 4	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1の時間のことだが、中学校は今下校完了時間が17時50分で、これは多分夏だと思うが、冬場は早く17時20分には部活動が終わるようになっていると思う。それで考えると、冬の部活動が一時間もない状況になると思う。多分高校に合わせてスタート時間を遅くした分、学校の終わる時間が遅いので部活時間が短くなる。今後の場所を見ると、例えばバドミントンだとジオアリーナだし、サッカーだと西校のグラウンドまで移動を考えると、ほぼ部活時間が確保できない。大会前に練習が十分にできない。外部の子はしっかりそれ以外の時間で長時間毎日のように練習しているので、大会でも差が出てくるので、この学校の部活を夏も冬もこの時間にするのか、今みたいに冬は短くするかによって、部活の調整も必要になってくるのではないかと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校の現状はどうなっているのか。短くなっているのか。
委員 5	<ul style="list-style-type: none"> ・11月から短くしている。
委員 6	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会の会長を決める時だが、3校で人数が違うので南部中が多分一番多いと思って、票的にも多分南部中が一番多くなってしまうのではないか。公平性を保てるようにした方がいいのではないかと思った。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・一応方向性としてはこういう方向性でということで、具体的に傾斜配点にするなど、具体的にどうするかは今後協議を進めていただきたいと思っている。
委員 7	<ul style="list-style-type: none"> ・冬校時とした時にバスは変わらない。路線バスの時間が変更はありえない。となると冬校時はないのかという質問になる。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・冬校時になって、例えば朝が遅く始まるということか。
委員 8	<ul style="list-style-type: none"> ・夕方。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・年間で授業の校時は変わらない。冬だけ、例えば部活を早くして、バスを早くしてということは考えていない。
委員 9	<ul style="list-style-type: none"> ・それなら冬校時はないということでいいか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今のところはそうなる。11月から20分あげてほしいというのもできないことではないかもしないが、今は考えてはいない。
委員 10	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関を使うので、一応安全は担保されているということを想定している。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・このバスには一般の方も乗る。高校でも場合によっては乗ってもいいことはなっているので、今は考えていない。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・他はどうか。質問でも大丈夫だが。
	(令和8年度中学校入学生交流会・勝山中学校説明会について)
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・次にいってもよろしいか。それでは令和8年度中学校入学生交流会及び勝山

- 中学校説明会について、事務局から説明をお願いしたい。
- 事務局
- この推進委員会の件については3学期にももう1回やる予定なので、その情報についても、共有していただきながら、意見をいただきながら進めていきたいと考えているので、よろしくお願ひしたい。それでは次に11月27日に計画をしている令和8年度中学校入学生交流会、勝山中学校説明会について、説明をさせていただく。資料3をご覧いただきたい。これは昨年に続いて2回目ということで、昨年この会でかなりいろいろな意見をいただきて、おかげさまで、それなりに子ども達にある程度伝わる会ができたかなと考えている。今年度は2回目ということで、今度の入学生は1年だけ今の中学校に行って、2年生から新しい中学校に入るということになる。いずれにしてもこの子たちが変則的な中学校生活を送ることになるので、この会を通して少しでも不安をなくして、夢や希望を持って学校に入ってきていただきたい。そういう願いを込めて実施するものである。日時は11月27日の2時から4時ということで、ジオアリーナを考えている。対象としては、小学校6年生とその保護者の皆様ということである。1ページめくついていただきて、会場図を準備させていただいた。これも昨年並みに考えているが、ジオアリーナの入り口側にスクリーンがあるので、こちらを正面にして、親御さんと子ども達が座っていただけます。スクリーン側を説明ゾーンとして、後ろの方は子ども達がいろいろ交流してもらうようなゲームをするようなスペースにしたいと考えている。もう一枚めくついていただけますと、座っていただけます面だが、保護者の皆様とお子さんが、隣同士で座っていただけます形で席を配置して、学校名が書いてある方が正面というふうにご覧いただきたい。全部で147名のお子さんが座り、合わせて保護者の方も座ることになりますので、全体で300数十名の方が集まる会になるかと想定している。概要としては以上だが、日程的に2時から交流会を始めて、30分程度仲間づくりゲームのようなことをしていただこうかと考えている。ここで急に友達ができて仲良くなれたということは難しいかと思うが、このぐらいの子が皆集まるとこれぐらいの規模になるんだということを体感してもらえるといいかなと感じている。最初の交流会については、保護者の参加は任意でということで、来ていただけの方は見ていただければ構わないし、説明会だけ来るという方についてはそれも構わない。参加の申し込みを今募っているところである。保護者の方については、交流会の間はギャラリーの方にいていただきて、交流会が終わったら下に降りてきて椅子に座っていただけます形を取ろうと考えている。2番目の説明会だが、実際に使う資料、基本的に昨年のものを若干今年の形に変えたという程度のものなので、今簡単に説明をさせていただけますと、ご覧いただけますと少しこういうふうにした方がいいとか、こういったものを入れたほうがいいとか、これは要らないとか率直な意見をいただければと考えているのでよろしくお願ひしたい。では、画面の方を使わせていただけます。皆さん方には資料4を準備しているので、同様のものなので合わせてご覧いただきたい。ペーパーについては、時間の関係もあるので、端折って説明をさせていただけますが、若干動画があるので、これはこういったものを使うんだとご覧いただけばと思っている。昨年度ご覧になられた方は同じものかと感じられるかと思うが、よろしくお願ひしたい。最初にジオアリーナで行うというタイトルである。山口 茜さんのメッセージ、これは昨年のと同じだが、了解をいただいたので、見ていただこうと思う。

(ビデオ視聴)

この後、まず交流会をする。これについては2人の指導主事がいるので、楽しいゲームをやっていただければと思っている。[→その後](#)説明会に入る。最初に教育長に挨拶をいただいた後、今日の説明についてということで、大きく四つの項目で進めていく。最初は1年生の時の生活、それから勝山中学校に入った時の、勝山中学校の5つの魅力ということで、まとめさせていた

だいている。物品購入について最後は質疑応答ということである。まず1年生の生活だが、基本的なこと、昨年はかなり慎重にしたが、今年はここについてはさらりといきたい。それぞれの学校で1年生の時はこの中学校に行くということを簡単に触れさせていただく。各中学校の生活についてはこの日に各中学校の説明会があるので、そこで聞いてほしいということ。昨年から全体で変わっている内容として制服が変わるということ、エンブレムがつく。体操服も変わる。長袖の夏用体操服も希望者は購入可能だということ、ロゴマークがつくということ、3中学校で内履き、外履きを統一するということ、通学カバンについては、大型のリュック式のもので同機能のものであればどれでもいいということを説明させていただこうと思っている。それから、授業についても、3中学校1年生の時には極力授業の進度を合わせるとか、交流会も実施する。あるいは部活動も、既に必然的にチームが1個になっていて、交流せざるを得ないというチームもあるが、交流も進めていくということを説明させていただこうと思っている。次に2つ目のまとめである、新中学校の5つの魅力ということで、まず仲間がたくさん集まりますよ、大勢の生徒が集まることで活気のある学校生活ができますよ、それからみんなの力を伸ばす校舎ですよ、指導については一人一人の夢を実現する教育をやっていきますよ、そして安全な登下校と近隣施設の活用ということで、スクールバス等の説明もしていきたいと思っている。最後は温かい自校給食。この5つにまとめてある。まず一番目の仲間の話だが、若干この辺りは子ども達にも少し考えてほしいなと思うので、どんなことがいいかなと少し考えられるような話をしたいと思う。こんなことがいいよねという話を振らせていただいて、仲間が多いことを生かして人と協力する力とか、お互いを認めあう力とかを伸ばしてほしいと、こういうメッセージを伝えたいと思っている。あとは具体的に規模がこんな形で5クラスになる。特別支援学級は6学級ぐらい、生徒が160人程度で、全クラス30人程度とする。授業は50分間になる。これは新しく先ほど説明させていただいた校時表がこのような形になる。大きく今の生活と変わるのは30分程度登校が遅くなるということを触れさせていただこうと思う。それから部活動についても、今ほど説明させていただいた設置する部活動は、このようなものを考えているということ。部活動の方針については、基本的に令和8年度に設置されている種目は存続すること、それから令和8年の秋以降は休日の部活動を行わないということ、合わせてスポーツ文化芸術活動の地域展開、地域で活動する場を広めていくというあたりを説明させていただこうと思う。これが一つ目で、二つ目は校舎の説明だが、これも去年ご覧いただいた方もおられると思うが、動画を見てもらおうと思う。校舎についても、新しい校舎の中でこういう力を伸ばしてほしいというメッセージは伝えたいなと考えている。まずは新校舎を見てみるということで、一旦スライドを切り替える。これについては私がナレーションを入れるのでご覧いただきたい。

(スライド視聴)

パワポに戻る。この他にもということで細かい部分を説明するが、特別支援教室が六つと通級の教室が二つできるということ。1階には相談室として小さなものが三つできる。外からも入ってこれる。それから今説明したのは中学校の新校舎だが、その隣の北側になるが、こちらの高校の校舎も現在リノベーションをしている。これについても説明をさせていただくが、1階、2階、3階とあって、赤い部分が中学生が主に使う部分、青い部分は高校生が主に使う部分、そして緑の部分は中高共用する部分と色分けしてある。まず1階は理科室が二つ、技術室、家庭科室、被服室、それから探究理科室の新しいものがてきて、この赤で囲ったあたりが中学生が使うことになるかと思う。2階は主に高校生が使うスペースということである。3階の方は全て共有となるが、音楽室が二つ、美術室が二つ、それから吹奏楽練習室として

大きなものが二つできる。こういう構造になっている。校舎と合わせて校章の方も早く決めようということで、この時点ではおそらく何点かの候補作品が明後日金曜日に決まる予定なので、それを示して選んでねというメッセージを伝えたいと思う。三番目は、一人一人の夢を実現する教育だが、伸ばしてほしい力として自分らしい生き方を考え将来をデザインする力を伸ばしてほしいということをまずメッセージとして伝えたい。特に高校が隣にあるので、高校生の活動がモデルになる。探究学習とか、学校行事、生徒会行事、こういったものも高校生の活動を見ながら、中学生がより、レベルの高いものを目指していく環境になればとそんなことを考えている。授業の方は少人数、特に数学と英語については、勝山高校の先生が応援に来てくださるということ。長期休業中には外部の方のセミナー等も企画したいと考えているということ、地域の方々による出前授業、現在でも各中学校やっているが、こういったものも活発にしていきたいということ、逆に子ども達が地域に出ていく活動も取り入れていきたいということ。それから、この恐竜学部のことで大学の先生からも話を聞く機会を設けて、将来を見据えた高校入試だけではなく、高校卒業後の自分の将来も考えられるような、活動も進めていきたいとこういったものを伝えていきたいと思う。勝山高校との接続についてだが、勝山高校を希望する生徒には連携入試ということで国語や数学という教科の試験ではなくて、それに代わる学力試験ではない入試で勝山高校に入っているけるような、そういう仕組みを作りたいと思っているということも説明したいと考えている。4番目だが、登下校と近隣施設の活用ということで、通学方法について、徒歩、自転車、バスと書いてあるが、基本的には近くの1.5km未満の生徒は徒歩、1.5km以上の生徒はバスとさせていただきたい。特別な事情があって、どうしても自転車でなければというような生徒、例えばバスの中で、集団の中に入れないとか、いろいろな事情がある生徒もいるかと思うので、そういう場合については自転車も許可するということにさせていただく。基本的に遠方は全てバスにしたいと考えている。バスについては、各地区から路線バスで学校へ向かう、料金は無料、朝は1便8時10分までに到着するもの、夕方については、16時40分からのものと、17時50分からというものの2便を出したい。乗車時間については30分程度にしたいと考えている。保護者の皆様方には、このバスを導入するのも安全確保と、保護者の皆様方の負担軽減ということなので、極力送迎ではなくバスを利用してほしいということをお願いしたい。やむを得ない理由で車で送っていただく場合については全てジオアリーナ側の方に駐車をしてほしいということもお願いしていきたいと思っている。それから、この近隣施設を利用するに当たって、このバスもそうだが、地下横断歩道が非常に重要な役目を果たすということを話したい。現在ジオアリーナに行こうとすると、この赤い線でぐるぐると回らないといけないが、この地下横断歩道ができると、短時間で校舎とジオアリーナを直結するという形になるので、雨にも乘れず移動ができるというメリットと話したいと思う。合わせて、ジオアリーナだけではなくて、近隣の長山グラウンド、長山公園も活用できる、非常に広大な施設が使えるようになるということも魅力として伝えたいと思っている。最後は学校給食だが、いろいろな情報があって、学校で作るのかどうなのかと今年何度か尋ねていただく機会があった。あくまでも学校に給食室をつくって、調理員さんが調理して、その作ったものを学校で食べるということをきちんとまず抑えたい。これは小学校と同じパターンだということ。使用するお米など勝山産の食材を使うということで、安全で安心な給食だということ、以上給食だった。ここまでが5つの魅力で最後は物品販売について詳細をいくつか説明したいと思っている。日程的なもの、内容としては、制服の採寸、内履きの購入、その他推奨品の展示も行うので、購入申し込みができるということ、制服の引渡しについては3月1日にこの時お金を払ってもらうということを伝える。取扱店については、以上のとおりということで、特に推奨品

については同機能のものであれば、他の店で買ってもらって構わないということは抑えておきたいと思う。購入にあたって、令和8年度は移行期間になるのでお兄ちゃん、お姉ちゃんから譲り受けたものを使ってもらっていいということ、それから、繰り返しになるが、推奨品については同機能であれば、量販店等で購入してもらって構わないということを伝えたいと思っている。これが各家庭にいっている申込書だが、これを見ると、みんな丸を付けなくてはいけないみたいな圧力がかかるみたいなものもあるので、あくまでも買ってもらわないといけないのは一番上のものだ、下のものについては推奨品なので、ここで必ずしも買っていただくものではないということは伝えておきたいと思っている。最後に質疑応答ということになる。説明は以上になる。

- 部会長 委員 1
- ・ただいまの説明について意見、質問等ないか。
 - ・12月6日に物品販売会がある。南部校区、北部校区は時間が分かれているが、中部校区は北部校区とダブっている部分がある。これはわざとなのか、あまり見ない。
- 事務局
- ・これは業者の考え方のようで、数は南部がまず多いということで、ここでさばきたい。本来ならば北部の時間があつて中部の時間があつてと分けるといいのだが、若干時間の余裕が取れないということで少しかぶる。このように組合の方で設定された時間帯である。
- 部会長 委員 2
- ・他にはないか。
 - ・去年参加していたので記憶を思い出しているのだが、確かにいくつか質問があった。当然あの新しいブレザーでもなかつたし、今年1年経つて、去年はこんな質問があったという記録があるのならその質疑応答とかを去年こういった質問ありましたよと事前に言ってもいいのではないかと思う。進んでいることは進んでいるし、例えば不安はあったがこういうふうに実は解消されているとか、例を言うと、野向と平泉寺の前に、保育園がなくなるという時に、なくなったらどうなるのかと言われたが、実際進んでみたら、実はそんなに問題が起きなかつた。聞いたことがあって当然親御さんはいろいろ不安なところはあるが、1年経つてみて、子ども達はのびのびやっていますよとか言つたらそれはよかつたという話もあるので、だからもし去年の質問で今年解決されているものとかこういう検討が進んでいるということがあつたら、そういうことを言ってあげると同じ質問は来ないのかと思うので、よろしくお願ひしたい。
- 事務局 委員 3
- ・この質疑応答に入る前に、去年こんな話があったということを紹介させていただいて、それに回答してしまう形で進められればと思う。
 - ・あまり覚えていないがいろいろ質問があったような気がする。
- 事務局
- ・三つか四つあって頑張って聞いてくれたねと言つた覚えがある。覚えているのは細かいことで、一つは制服の下にカッターシャツを着る時は、当時の現在の学生服の下はなにかではないと駄目という話になるが、ブレザーの場合はどうなのか、みたいなことを言われたような記憶がある。その辺りのこともあるって、先ほど推進委員会で決めていただいた制服の下はどうかを自分で判断できるようにしましょうということも挙げているので、その辺も含めて回答しておければと思う。
- 部会長 事務局
- ・他にはどうか。それではご意見ありがとうございました。
 - ・今見ていただいたスライドは昨年度のスライドをベースに、少し今日の日のために事務局で手を加えているが、この後もう一度しっかり検討して、少し変わることはあるということは、含んでおいていただきたいし、せっかくの機会なので、ざっと流れを見て、こここの説明をもっとしないといけないとか、あの説明が抜けているとか、そんなことがあつたら、教えていただけるとありがたいと思う。特になれば、事務局の方で検討させていただく。
- 委員 4
- ・去年ここにいたので、実はこのスライドを作る前のスライドを知っている。その時に意見があつたのはこのスライドを見て、今から行く小学生がこの中

	<p>学校に行くことに対して、ワクワクするスライドが否かとなると、ワクワクしないよねという印象だったので、ワクワクするようなスライドになんとか頑張ってしてくださいと言つて、去年やつていただいて、アップデートされているという感じだ。やはり、期待というか、先輩方が行つていて今の6年生、自分たちが続いていくという中で、このスライドを見て、何か楽しみだなと思ってもらえるようにするために、何が足りないという意見をいただけたといいのかという気がする。本当に硬かつたと去年は思ったので、すごく去年の説明から朗らかにいつていたような気がする。質問というか、そういう観点で見ていただければいいのかなと思う。</p>
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達がワクワクするようなスライドにという視点で意見があればどうぞ。若干部活動の名前も修正するという形になる。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ぜひ中学校の先生方にも協力いただければと思うが、今の指摘について考えると、学校に行く機会があつて、今の1年生の子たちと一緒に給食を食べさせてもらつたり、あるいは小学校6年生の子と話をしたりという機会を持っているが、意外と今の小学校6年生の子は去年我々が不安を感じていたほどあまり不安を感じていないというか、表面的かもしれないが、いろいろなお子さんがいて個人差があるので、一概には言えないが、こちらが心配していたようなえーという声があまり聞こえてこない。期待しているというものを入れていけたらいいと思うし、逆に中学校のお子さんには新しい制服を着てみていいよって言つていただけるようなそんな要素も入れられたらいいかなと今の意見を聞きながら感じている。
委員5	<ul style="list-style-type: none"> ・今の中学生1年生ということで、含めて話をさせてもらいたいと思う。新しい服になって、どんな感じで学校で生活しているかだが、先ほどの大まかな枠の中で大体やっているが、かなり混ざっている。全員がネクタイをしているかというと、そうでもなくて、下にポロシャツを着ている生徒もいる。わずかだが女の子でもズボンはいている子もいる。混ざっているのでもいいというか、その中でいろいろ自分で判断して着れるというのが今の1年生の現状になる。楽しくやっていることが、写真でも見せていただけたと安心するのかという思いがある。もう一つは、細かくなるが、給食がすごく興味がある、自校式給食ということがあるのではないかと思う。できればできるだけ美味しい給食のものを出してもらいたいと思っている。おそらく小学校の給食だと思うので、中学校はカロリーベースでも少し上がるで、ここにフライがついているとかになるのかと思うが、検討してほしい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・給食については去年も同じ意見をいただいた。湯気があがっているものとか言われた。
委員6	<ul style="list-style-type: none"> ・去年は当日、参加していなかつたので、今日これを見て思ったのだが、学級数のところだが、5学級プラス特別支援学級。去年の話し合いの中でも、登校への不安をもつ子どもさんへの手厚いところも、方針に入れていただけるといいという意見があつたので、特別支援学級の説明の中に若干あると、聞いている保護者で、不安に思つてはいる保護者とか、子どもさんとか、安心できる学校なんだというような印象を持てるといいのではないか。先ほどはさらりといふ感じだったので、そういうのがあるといいのかなと思った。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級とか、相談室とか、不安を感じておられる保護者の方もたくさんおられるのではないかと思うので、説明の中では校舎の図しか説明していないが、少しそこに、中学校と小学校の連携をしっかりとるとか、安心していただけるような内容というのは織り込んでいきたいと思う。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・他はないか。それではたくさん意見ありがとうございました。本日いただいた意見を踏まえて、事務局は当日の準備を進めていただけたらと思う。よろしくお願ひしたい。
(令和7年度中学校1年生および保護者対象学校説明会について)	
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・では続いて令和7年度中学校1年生および保護者対象学校説明会について事務局よりお願ひする。

事務局

・資料5をご覧いただきたい。今ほどの小学校6年生のお子さんに対する説明会は二度目になるわけだが、これは今年度初めて行う説明会となる。令和7年度中学校一年生及び保護者対象学校説明会実施要項ということで、説明をさせていただく。先般県教委の発表の中で勝山市も中高一貫教育を導入するという発表があった。おそらくサラッと見られた方もいるだろうし、一体これは何のことだろうと感じられた方もいるのではないかと思っていて、この部分をきちんと説明しておかないと1年生のお子さんが、将来的にそういうふうになるなら、今から心がけなくてはいけないことがある、いろいろな準備をしていただきたいと思っている。理解を深めていただくとともに、8年度以降の生活について見通しを持っていただく、自身が主体的に学校生活を送っていただくということを目的にしている。方式は、3中学校に我々がお邪魔をして、夜になるが、説明をさせていただく形、いわゆる学年集会みたいな1年生のお子さんと保護者の方に集まつていただけるような少し広い場所、一応多目的室、音楽室、図書室と書いたが、これでいいかどうかも校長先生から意見をいただければと思う。日程的なものについても、この後中学校の先生方と相談をしていきたいと考えているが、11月中は無理かと思って、12月になるかなと思っている。どの学校も大体100人から120人程度の規模になろうかなと思う。内容のことだが、委員の皆様方もそれ一体どういうことなんだと感じになられる部分もあるかと思うが、とりあえず項目だけ説明をさせていただく。まず、連携型中高一貫教育の制度の概要と導入の目的、どういうことを目指してこういった制度を取り入れるのかということだが、ごく簡単に言うと、中学校の3年間と高校の3年間をつなぐということで、6年間を見通した教育を選択できるということを取り入れるということである。後ほど質問があれば詳しく説明をさせていただきたいと思う。それから、勝山の中高一貫教育の特徴ということで、何にも増して連携型というと普通は学校が離れているが、勝山の場合は非常に近いところにあって、連携型と言いながら非常に密接な交流が可能になるというようなところが、一番の特徴かなと感じている。先ほど説明の中でも申し上げたが、連携生徒の選考と入学者選抜、勝山高校にぜひ行きたいというお子さんを、連携生徒になっていただいて、その場合の入学生選抜については、試験ではない方法で繋がっていくような形を取り入れていくということ、それに合わせて、2年生のうちにやっておかなくてはいけないこと。そして3年生になると、どういう形になるのかというあたりを説明させていただきたい。さらにはその子たちが高校に行くとどうなるのかということも。これはこちらの説明できる範囲ではないが、こういう形になるんだろうと思うが、触れられる範囲で説明をしていきたいと思う。以上が一貫教育についてということで、今回の一番の目的はこの部分になる。ただ集まとるとどうなるのかということがいろいろまだ出てこようかと思うので、これは一般的な話として中学校3年生になった時に新中学校になった時にこの辺りはどうなっているのかというようなことをある程度質問を想定して説明をしたいと考えている。一つはクラス編成をどうするのかということ、それから今ほど説明させていただいたが、校時表とか学校生活は変わらのかとかあるいは登下校とかは大丈夫でうまくできるのかとか、どんな規定になるのか、生徒会組織はどんなふうになるのか、あるいは学校行事はどうなるのか、校則はどんなふうになっていくのか、どうやって決めるのかとか、あるいは部活動はどうなるのか、給食はどうなるのかということについて、今ほど推進協議会の説明もさせていただいたが、そういったところを踏まえて決定している事項については説明をしていきたいと考えている。まだ決定していない内容について、質問をいただいた時にはそういったものも今後検討していくことで、ご意見を伺いながら進められるような、そういう構成にしたいなと考えている。今日と同じようにパワーポイントを使って、資料を配布する形で説明をしたいと思っているし、中学校の先生方にもお願ひだが、今後どうなるかという

	<p>ことについては、当然我々の方で答えるが、二年生の間どうなるのかとか、いわゆる現状の中学校はどうなるかについては、中学校の先生方にも対応を設けていただきたいと考えている。以上になる。</p>
部会長 委員 1	<ul style="list-style-type: none"> ・ただいまの説明について質問、意見等あるか。 ・この説明会を1回開くということで理解はしているが、例えば都合で来れない親御さんも多分いて、それは何人かは置いておいて、例えば、各中学校で予備日を作ると大変なことになってしまうので、もし予備日を作るとしたら、3中まとまって話す内容は一緒だと思うので、その学校の2年生3年生のことは答えられないかもしれないが、そういったことも、もし検討できるならということになる。まだ次もありますよというか、アップデートはされていくと思うので、そういったところで今後も考えていくのであれば、今回難しかったら次回またあるという形でもいいかと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・先ほどの小学6年生の皆さんへの説明会もそうだが、都合で欠席とか、参加できない方への対応は、何らかの方法では考えていきたいと思っている。一つ去年させていただいたのは、説明そのものをアーカイブ化というか、オンライン上に載せておいて、いつでもご覧いただけるような形を取るというのは対応させていただいたし、可能であれば、会場へ来れないが、リアルタイムでそのまま見れるというようなこともできればいいなと思っているが、この辺りは少し検討させていただきたい。
部会長 委員 2	<ul style="list-style-type: none"> ・他にはどうか。 ・小学校6年生は中学校って全然学校が違うので、参加率は確実に上がると思う。ただ1年生はまだ2年先なので親としては今回でなくても来年もまた説明があるのではないかと考えるし、まだ2年と思うと結構中部中1年生も外部で活動している子は7時からで皆さんそちらの方に子どもを優先させてしまうと思うので、例えば今回だけしか聞けないのか、それともこの先もあるのかという見通しを出すかどうかでも参加率は変わってくるのではないかと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ここで1年生のお子さんに対して説明をする一つの理由が、2年生のうちにある程度やっておかないと2年生が済んでしまった後に説明を聞いても、そんなことならもっと早く言ってよという話になりかねない部分があるので、そういったことだというピーアールはぜひしていきたいと思う。中学校の方にも協力をいただくことになろうかと思うが、学校の方からも大事なことだから来てほしいということを一言口添えいただけたとありがたいと思う。
委員 3 部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・なおさらリアルタイムとかアーカイブとか必要になってきそうだ。 ・他はないか。これまでの意見を踏まえて、周知の仕方とかを工夫しなければいけないかもしれない。今的小学6年生の会は2回目になるので、なんとなくだが、今回はこれが新しいというか、初回になるので、どこまで話してどんなふうに聞いていただいて、どんなふうに意識を持っていただくかというのが大事かなと思う。また修正をしていただいて、作業を進めていくことになるかと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今ほど言っていた案内については、学校経由でお願いしたいと思っているので、その時にピーアールになろうかと思うのは、保護者の皆さんが聞きたいことに答えるというようなことで、聞きたいことも書いていただきて申し込みをいただこうかと思っている。そういうことが聞けるなら、是非行きたいと思っていただけるような、ご案内の仕方をしたいなと思っているので、よろしくお願ひしたい。合わせて、2年生になる時に大事なことなので来てくださいということも文面には添える。
部会長 (その他)	<ul style="list-style-type: none"> ・ではよろしくお願ひしたい。
部会長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・最後にその他に移りたいが、何かあるか。 ・実は竣工式、閉校式、開校式。これが年度末というか、竣工式は3月12日が完成予定なので、それ以降に竣工式になる。その前後で3中学を閉校しな

くてはいけない閉校式がある。それから入学式のこの辺りになるかと思うが、開校しなくてはいけないという大きな式を三つすることになる。実は他市町の状況を参考までに申し上げると、この三つともやるというのはなかなかない。例えば大野だと閉校はしているが、一緒になるだけなので開校はしない、新しい九頭竜中学校は閉校をしないで分かれてくるだけなので、竣工と開校しかしない。だから、なかなかこの三つとも全部やるというところがあまりない。そういったこともあるって、何もかも華やかにやりすぎると予算的に厳しい面もあるので、その辺のところもこちらの方でもう少し協議をさせていただいて、提案させていただきたいと思っている。そういう意味で次回を1月下旬に案内させていただいて、この竣工式、閉校式、開校式について協議をいただきたいと思っている。特にこの閉校式に関しては、こちらでやることを示させていただかないと、そういうことなら、例えばPTAとしてこんなふうにしようということもあるかもしれない。1月下旬にはその辺りのところを協議いただきたいと考えている。

- 部会長
- ・もう他にはないか。では、このレジメに従って進めたものは以上となる。長時間にわたりご審議ありがとうございました。以上で本日は協議を終了したいと思う。事務局にお願いする。
- 事務局
- ・本日はお忙しい中、誠にありがとうございました。本日いただきましたご意見を踏まえて今後の準備を進めていきたい。引き続きご協力をよろしくお願いしたい。それではこれをもって、第2回学校運営部会を閉会する。ありがとうございました。

資料1. 中高連携推進委員会より

資料2. 部活動の設置状況と今後の見通し

資料3. 令和8年度中学校入学生交流会・勝山中学校説明会実施要項（案）

資料4. 令和8年度中学校入学生交流会・勝山中学校説明会プレゼン資料（案）

資料5. 令和7年度中学校1年生および保護者対象学校説明会実施要項（案）